

在宅看護力育成事業 教育プログラム

位置づけ: 日本訪問看護財団の「訪問看護研修コアカリキュラム(導入教育)」および滋賀県看護協会の「新卒訪問看護師育成プログラムにおける単独訪問前までの学習内容(卒後教育)」を含むプログラムとする。

科目名	在宅看護学展開論Ⅰ	在宅看護学展開論Ⅱ	在宅看護学展開論実習Ⅰ	在宅看護学展開論実習Ⅱ	在宅看護学展開論実習Ⅲ
位置づけ	導入教育	導入教育、卒後1年目	導入教育、卒後1年目	卒後1年目	導入教育、卒後1年目
開講時期	第3学年12月 または 1月	第3学年1月 または 2月	第3学年1月～2月 または 2月～3月	第3学年3月 または 第4学年4月	第3学年3月 または 第4学年4月
時間数	30時間(15コマ)	30時間(15コマ)	1週間	1週間	3週間
形式	学内講義 ※ 専門家による講義	学内演習 (滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター) 学外演習 (二プロiMEP) ※ 事例をもとにした演習	学内実習 (滋賀医科大学医学部附属病院 病棟・患者支援センター)	学外実習 (滋賀県内の診療所) ※ 在宅看護学展開論実習Ⅲと同時進行	学外実習 (滋賀県内の訪問看護ステーション) ※ 在宅看護学展開論実習Ⅱと同時進行
履修生のレディネス	【学部生】 ・在宅看護学の講義は履修済み。 ・在宅看護学実習は未履修。 【編入生】 ・在宅看護学に関する講義および実習は出身校で履修済み。 ・様々な学習背景の学生が含まれる。 ・臨床経験者のある学生が含まれる。		【学部生】 ・在宅看護学に関する講義および実習は履修済み。 ・実習では主に安定期のステージにいる療養者への看護活動を見学を通して学習済み。 【編入生】 ・在宅看護学に関する講義および実習は出身校で履修済み。 ・様々な学習背景の学生が含まれる。 ・臨床経験者のある学生が含まれる。		
ねらい	・在宅看護学に関する既習の知識を整理する。 ・在宅看護学への興味関心を高める。	・在宅看護学に関する既習の知識を整理する。 ・卒業時の技術到達度を高める。 ・在宅看護学への興味関心を高める。	・病院から在宅療養への移行を支える活動の実際を学ぶ。 ・在宅療養準備期から在宅療養移行期の訪問看護活動について理解を深める。	・地域医療における医療活動の実際を学ぶ。 ・急性増悪期や終末期を支える訪問看護師の活動について理解を深める。	・在宅療養者への看護活動の展開について理解を深める。 ・訪問看護ステーションの管理者および訪問看護師の役割について理解する。
学習内容	在宅療養を支える専門家による講義を通して学習する。 ①地域医療の現状と課題 ・行政の動向 ・医療の動向 ・活動の実際 ・求められる医療職の役割 ・地域医療の魅力 ②在宅看護活動の現状と課題 ・行政の動向 ・活動の実際 ・諸制度の理解 ・看護職に求められる役割 ・訪問看護活動の魅力 ③在宅ケアチームの現状と課題 ・行政の動向 ・活動の実際 ・他職種理解 ・多職種連携の意味 ・看護職に求められる役割 ④地域包括ケアの現状と課題 ・行政の動向 ・活動の実際 ・社会資源の理解	生活援助に位置づけられる行為を中心に学習する。 ①在宅看護技術 ・スタンダードプリコーション ・症状の観察(フィジカルアセスメント) ・口腔ケア、嚥下機能訓練 ・排泄援助(排便を含む) ・排痰法、呼吸訓練 ・関節可動域訓練 ・体位交換 ②在宅医療技術 ・服薬管理(麻薬の管理を含む) ・経管栄養法 ・静脈血採血、点滴静脈注射 ・在宅中心静脈栄養法 ・血糖測定・インスリン注射 ・在宅酸素療法 ・在宅人工呼吸療法 ・吸引、酸素飽和度測定 ・褥創対策 ・膀胱留置カテーテル ・間欠的自己導尿 ・泌尿器ストーマ、消化器ストーマ	退院支援部門の看護師の活動を通して学習する。 ①退院前(在宅療養準備期)の看護過程の展開および実践の理解 ・退院支援スクリーニング ・在宅療養への意思決定 ・病棟看護師の活動と役割 ・退院支援部門の看護師の活動と役割 ②病院内外のチームケアの理解 ・院内外のスタッフとの連絡調整 ・退院カンファレンスの実際 ・在宅療養移行時の看護職の役割 ③社会資源活用の理解 ・在宅療養を支える職種の活動と役割 ・在宅療養を支える制度 ・在宅ケアチームの実際 ・地域包括ケアの実際	医師の往診への同行を通して学習する。 ①地域医療の理解 ・療養者や家族の現状 ・地域医療の現状 ・制度の理解 ②急性増悪期の在宅医療 ・療養者や家族の理解 ・療養者や家族への支援の実際 ・在宅ケアチームの実際 ・医師に求められる役割と能力 ・訪問看護師に求められる役割と能力 ③終末期の在宅医療 ・療養者や家族の理解 ・療養者や家族への支援の実際 ・在宅ケアチームの実際 ・医師に求められる役割と能力 ・訪問看護師に求められる役割と能力	管理者および訪問看護師への同行を通して学習する。 ①訪問看護師の一日の活動への理解 ・訪問前、訪問中、訪問後の活動 ・訪問の目的と看護内容の理解 ②在宅看護の介入時期別による看護過程の理解 ※継続訪問事例について1事例担当し、看護展開をする。 ・在宅療養移行期の看護活動 ・安定期の看護活動 ・急性増悪期の看護活動 ・終末期の看護活動 ③訪問看護ステーションにおけるチームケアの理解 ・看看連携の実際 ・多職種連携の実際 ④訪問看護ステーションの管理、運営の理解 ・管理者の役割 ・運営の実際 ・訪問看護ステーション内外の活動
講義等の担当者	医療・保健・福祉部門の専門家(医師、歯科医師、訪問看護師、管理栄養士、理学療法士、保健師、社会福祉士等)	滋賀医科大学医学部附属病院のスタッフ(専門看護師、認定看護師、臨床教育看護師、薬剤師、臨床工学士)、在宅医療機器メーカー等	滋賀医科大学医学部附属病院のスタッフ(専門看護師、認定看護師、社会福祉士、病棟看護師)等	診療所の医師や看護師、院外薬局の薬剤師等	訪問看護ステーションの看護師、介護支援専門員、関連施設の職員、看護学科教員、臨床教育看護師等